

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部病理学構造機能病態学分野では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：動静脈血栓症の発症に関連する病理所見の同定

1. 研究の概要

心筋梗塞や肺血栓塞栓症などは動脈や静脈内に形成された血栓（血液の塊）により発症します。本研究では病理解剖された症例の心血管系臓器を用いて、血栓症の発症に関連する病理組織を検討します。血栓症の危険性を予測する臨床技術への応用につながる研究内容です。

2. 目的

動脈や静脈の血栓症は、主に血管造影法やコンピュータ断層法で画像診断されていますが、侵襲性や放射線被曝の懸念があります。MRI は非侵襲的で組織変化の検出に優れており血栓性疾患への応用が期待されていますが、血栓症の診断における基礎的情報が十分ではありません。本研究では病理解剖された臓器を用いて MRI 所見に対応する病理組織変化を明らかにすることを目的とします。

3. 対象者

2014 年臨床研究承認日から 2018 年 3 月 31 日に本院にて病理解剖された成人解剖症例で、血栓症症例（年間約 4, 5 例）の方が対象となります。

4. 方法

摘出した心血管系の臓器を形式通りに固定、十分に水洗後、診療時間外に大学付属病院の MRI で撮影します。病変部の病理組織標本（ガラススライド）を作成し、MRI 情報と細胞成分などの病理所見を対比します。遺伝子の検索は行いません。なお臨床情報については、病理解剖依頼書に記載された臨床情報（危険因子の有無）を使用し、臨床カルテからの検索は行ないません。

5. 費用負担

この研究を行うあたり、ご遺族が新たに費用を負担することは一切ありません。

6. 利益及び不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

7. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人やご遺族を同定できる情報は一切使用しません。

8. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人やご遺族を特定できる情報は一切利用しません。

9. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）ご遺族の方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。

10. 疑問や質問があった場合の連絡先

この研究に関して疑問や質問があった場合は下記連絡先へ遠慮無く連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野

助教 山下 篤

電話：0985-85-2810

FAX：0985-85-7614